



成田市議会副議長 神崎利一

ご挨拶

ご健勝の事とお慶び申し上げます。昨年の五月臨時議会にて副議長職に就くことになりました。これからも市議会に課された重責を果すべく、専心努力致します。

平成二十四年の干支「壬辰」は「壬は孕む、即ち妊の姿であり事に当る壬」を表している。「辰は伸なり、妊みは伸舒して出ずなり」と、前年の「辛卯」が余寒のため思うように伸びなかつた陽気、活動力がぐっと伸びて活発に震動するとも言います。

世界情勢、国内情勢共に要領を得ず、政治経済すべて曲がりくねり、開発は掛け声ばかりで、諸事掛け声倒れに終わるよう懸念されるが、是非善悪、成敗利鈍はべつとしてリーダーにならなければならぬと「干支」は教えています。

「決意があつてこそ事は成る」大事なのは決意を持ち続けることです。市民の為の市政を創るという概念の基に政治活動を行なっています。

臨時議会にて役職決定

(平成二十三年五月二十六日)

- 成田市議会副議長【第三十八代】
- 建設水道常任委員会
- 地域防災特別委員会
- 収賄事件再発防止・法令順守等に関する調査特別委員会
- 議会だより編集委員会【委員長】
- 成田市議会会派【政友クラブ】所属

平成24年度予算

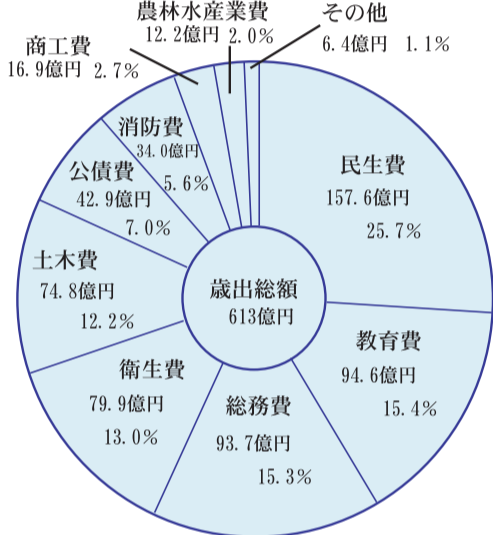
三月議会にて承認されました

一般会計は前年度当初比2.4%減の613億円で、5年ぶりのマイナス編成。景気低迷の影響もあり、市税収入は1.3%減の297億7千万円。

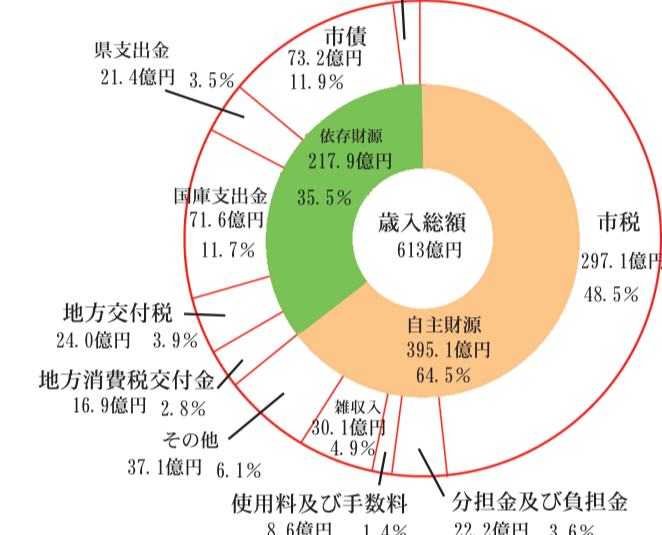
市税収入の内訳見込みは、個人市民税を2.8%増の約74億5千万円とする一方、法人市民税は7.4%減の約22億4千万円、固定資産税も2.7%減の約186億円と想定した。JR成田駅東口の再開発や公津の杜地区の複合施設など大型事業が続く上、子育て対策や扶助費を確保する必要もあり、財政調整基金から約23億5千万円を繰り入れた。

※詳しくは成田市のホームページをご覧ください。

歳出の構成割合



歳入の構成割合



平成24年度主な新規事業

- 子どものための手当で子ども手当で支給事業 22億7千5百60万7千円
- 子どもショートステイ事業 8万円
- 養育支援訪問事業 18万6千円
- 認可外保育施設利用者補助事業 500万円
- 企業誘致事業 1億5千7百78万5千円
- さくらの山観光物産館整備事業(実施設計や測量費) 1940万円 平成26年完成予定
- 民間建築物吹付けアスベスト対策事業 290万円
- 土地利用方針策定事業 996万5千円
- 小学校太陽光発電導入事業 5690万円
- (公津の杜中学校、久住小学校)
- 吾妻小学校増築事業 2150万円

【建設水道常任委員会】

『JR成田駅東口再開発事業』の暫時凍結に関する請願書

平成23年12月27日、千葉地方裁判所に元成田市長、小川國彦を原告とし、現成田市長・小泉一成を被告とする訴状が提出された。

請求の趣旨は「被告は、JR成田駅東口再開発事業に関して、一切の公金を支出し、契約を締結し、又は債務その他の義務を負担してはならない。と、いう『JR成田駅東口再開発事業公金支出差止請求事件』である。施策が成功するためには、公共の根拠や説明等に住民や地権者の支持が得られるのが必要です。今回は特に地権者の協力が得られている事が重要だと思えます。法的に問題がないとの事ですので請願に反対する。

【収賄事件調査再発防止特別委員会】真相究明と今こそ入札改革を!

職員2名が増収賄事件で逮捕され、調査委員会を設置し、徹底的な再発防止策を講じるためには、外部の有識者を中心とした第三者機関とすべきで、成田市議会として、真相究明と再発防止を図るべく、次の通り申し入れを行いました。

- ① 収賄事件の事実関係の把握と原因究明。
 - ② 再発防止に向けての入札制度の検証。
 - ③ コンプライアンス条例制定の検討。
 - ④ 収賄事件調査・再発防止委員会の検証・検討の経過および結果の議会への報告。
- 市民からの通報も公益通報と位置づけ「成田市コンプライアンス条例」を三月議会で可決。

【地域防災特別委員会】

3・11の東日本大震災を受け成田市議会では、地域防災特別委員会を設置しました。地域が自主的に一次防災を推進する事によって、減災に対応できるように、自主防災組織づくりの促進に取り組んでいくとともに、防災マップについても、想定以上の被害を予想し、見直しを進めていきます。

【問】被災地のガレキ処理に成田市も積極的に取り組むべきではないか。

【答】県内の被災地のガレキを優先的に。消却灰の最終処分場がない為に他市に依頼している為に現在では受け入れられない。

東北復興支援「成田市民号の旅」

成田市が東日本大震災の被災地の復興を支援しようと、東北の観光地を巡るツアーを企画し、市民約80人が日本三景・松島(宮城県松島町など)を訪れた。市長が「成田も観光地として発展してきた。市民が訪れることで少しでも元気になってもらいたい」とあいさつしました。私も当日は収賄特別委員会終了後、参加しました。(二十四年度も開催の予定です。)

【私からの平成二十四年度の要望】等

- コミュニティバス停留所に荷物置台やベンチの設置。
- 入札制度の検討、金額による地元企業の育成。
- 騒音地域の土地利用。野外ステージなど。
- 放射能対策は万全にそして広報徹底。
- 新エネルギー政策(空港周辺に)
- 京成成田駅東口周辺の中央分離帯や芝生地に花壇の整備で景観を。
- 退職者の企業設立支援を、例えば学校跡地・空き店舗など。
- コンプライアンス条例の制定。
- 成田市独自の農業政策を。
- 成田空港特区の研究。
- 生活保護受給者への検討。
- 流通卸市場の将来的な検討など。

復興には何が必要か
東日本大震災から1年余り多くの被災者には今も悲しみや苦勞が続いています。皆様の温かいご支援やボランティアの協力が必要とされています。
一人はみんなの為に、みんなは一人の為に!!



成田だから出来る

成田国際空港の展望 ○空港同時離着陸！

A滑走路とB滑走路の「同時離着陸方式」年間発着枠が22万回から23万5000回になり、新方式導入で、空港が目標とする2014年度の30万回が可能となります。導入後は出発便で、両滑走路合わせた1時間あたりの発着回数は54回から58回にわずかですが増加します。同時離着陸により、ピーク時の出発可能な便数が増え、航空各社の希望時間帯に、より近づく発着枠の設定が可能となります。このため、乗り入れの少なかつた国内線が拡充されます。

※LCC(格安航空会社)により、旭川・札幌・那覇・福岡、神戸と結ばれ、日航・全日空関連2社により、さらに拡大されます。

格安航空ジェットスター・ジャパン

今夏から成田空港に就航する格安航空会社(LCC)「ジェットスター・ジャパン」(東京都千代田区)が、成田市内への本社移転を検討していることがわかった。同社は将来的に社員を約1千人にまで増やす計画で、市は雇用拡大に期待している。

○成田、羽田へバイパス線 新東京駅ー成田を37分で

成田、羽田両空港と東京都心のアクセス向上のため、国土交通省が民間資金を活用し、都営浅草線の押上駅(東京都墨田区)と泉岳寺駅(同港区)を結ぶ地下鉄のバイパスとして、約11キロの新線を検討している。

○「成田空港特区」の企画立案を

政府は、東日本大震災の被災地である東北・関東の市町村を対象に、復興特区制度を作成しました。成田市もこの制度の特定被災区域に指定され、特例措置としては、住宅移転や商店街・農水産業の再生、医療品・医薬産業や先端医療の拠点づくり、太陽光や風力などの自然エネルギーを活用するエコタウンづくりなどがあげられます。そこで、空港会社所有の約660haの騒音用地をベースとする農業特区や、人口10万人当たりの医師数が全国ワースト3である千葉県民の為に成田に「ハーバード医学部」誘致構想「成田市にハーバード大学を招聘しよう」これは荒唐無稽な夢物語ではない。医師不足と医療の国際化、そして成長戦略の一つと位置付けられている「医療ツーリズム」、三つの課題を一挙に解決する妙手として具体策の検討が始まっている。この発端は、二〇一〇年六月、三十年ぶりに文部科学省が医学部新設を容認したことだ。近いうちに医学部新設検討委員会がたちあがるという。

また医療産業の集積、地球的課題の実験村づくりとしてのエコタウンや国際物流拠点整備など成田空港圏の潜在力を発揮し、東日本大震災後の日本の復興の一翼を担う政策立案は我々に課せられた責務と考えています。その為にも、物流機能の充実が求められており、圏央道の(仮称)成田小見川鹿島港線までの空港環状道路の着実な整備を要望していきたいと思えます。

○免税店拡大や観光案内緩和、特区申請プラン示す

小泉市長は6月に総合特区法が成立したことを受け、邦人到着旅客に対する空港外を含む免税品の販売許可や、地元ホテルなどが外国人宿泊者向けに市内観光ツアーを企画提供できる旅行業者代理業の特例認定といった、同市としての特区申請に向けた検討プランを示した。

○成田にカジノ誘致なるか？千葉県主催でシンポジウム開催

千葉県が行なっている「カジノ・MICE機能を含む複合施設(IRR)の導入検討調査」の一貫であるシンポジウム「成田空港周辺でのIRRの可能性について」が成田国際文化会館で行なわれました。このシンポジウムは、成田空港周辺でのIRR導入の可能性の調査を千葉県から委託された、株式会社総合研究所によるもの。市内外の経済界の関係者111人が熱心に聴き入りしました。

○空港機能のより一層の充実を

成田空港の容量30万回と羽田空港の国際化により、国は首都圏空港を含めたオーブンスカイの締結に動き出しています。成田と羽田の競争ではなく、新規参入国の受け入れによる国際路線の確保や、乗り継ぎ客の利便性を高める国内空港との連携など具体的な取り組みを国や空港会社に提言することが、成田の地位向上につながるものと考えます。またその一方では、発着回数の増加に対し、騒音被害の拡大が心配されます。住み続けたいという住民には、騒音対策やその地域の発展策を徹底して行なうことが求められます。子どもや孫の代まで安心して生活ができるような環境づくりを、具体的に進めることが、前提条件です。

○成田国際文化会館の施設管理者が変わります

指定管理者制度の導入については、すでに国際文化会館を含めて市から提案がなされ、私をはじめ議会としては、「官から民へ」の改革として制度導入を必要と判断しました。財団は解散に向かうため、気持ちの上では同情を禁じませんが、民間に出来ることは民間に任せていくという行政改革を推進する立場として「賛成」しました。又、旧職員の再雇用に全力を尽くすよう要望し、その後、市の各機関に決定しました。

正副議長選挙 議長 宇都宮高明 副議長 神崎利一



情熱と行動力で

見・聴

活動グラフ

更なるさくらの山へ 8年間の要望活動などで観光物産館整備事業始まる 平成26年完成



市役所が総合窓口を開設 住民の利便性向上へ 10月11日オープン式にて挨拶



○恒例の取香盆踊り大会



今回は東日本大震災・福島原発で被災されている方々もご招待いたしました。

今年も地元歌手、藤この美さん出演 成田東武ホテルにて



あい愛「社会貢献セミナー研修」に参加して 平成23年11月13日(日) 於 福島市生活協同組合あいコープ福島 理事長 佐藤孝之氏の基調講演 3月14日の福島原発事故の報告が、なかった為復旧対応も遅れた。 また農産物の風評被害で会員数も減減した。

●小名浜・海の幸の昼食場所 (津波が1.6m押し寄せたが元気に復興)

羽田空港に負けるな！！



空ガール、成田に新風 成田市役所の女性職員7人がスイーツの開発チーム「ソラ(空)ガール」を昨年秋に結成。あんパンなら和と洋の融合で外国人にも食べてもらえらるとして、オール成田で取り組んでいる。(成田空港成長戦略会議にて)

新製品のあんパンの試食

祝 敬老の集い



市主催最後の敬老会で挨拶 市全体で開催されていた成田市敬老会は、平成24年度からは地域ごとの開催が検討されています。

敬老会の始まりは松平定信の提案で將軍徳川吉宗が古老を集めて知恵を授かる会を催したのが始まりだそうです。

あい愛「社会貢献セミナー研修」に参加して 平成23年11月13日(日) 於 福島市生活協同組合あいコープ福島 理事長 佐藤孝之氏の基調講演 3月14日の福島原発事故の報告が、なかった為復旧対応も遅れた。 また農産物の風評被害で会員数も減減した。

●小名浜・海の幸の昼食場所 (津波が1.6m押し寄せたが元気に復興)